

令和7年度第1回高知県食育連携推進協議会 議事要旨

日時：令和7年7月31日（木）午後2時30分～午後4時30分

場所：高知共済会館3階 中ホール「藤」

方法：対面開催

出席者：出席10名、事務局10名

○協議事項

- (1) 会長、副会長の選出
- (2) 第4期高知県食育推進計画の進捗状況について
- (3) その他

○議事等概要

(1) 会長、副会長の選出

委員の中から、会長に新谷委員、副会長に津野委員を選任した。

(2) 第4期高知県食育推進計画の進捗状況について

事務局から資料1、資料2をもとに第4期高知県食育推進計画の進捗状況について説明を行った。

[内容等]

■第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進について

- ・委員から、朝食摂取に関して、摂取率のみでなく食事内容のデータがあるのかという質問に対して、学校栄養士会では、主食とおかずを食べたか、主食だけ食べたか、おかずだけ食べたか、その他のものも食べたかを調査し、各学校の栄養士が子供たちに指導に当たる基礎資料にしている旨回答があった。また、可能な範囲でその結果を共有して欲しいという意見があった。
- ・委員から、地域の鮮魚店等と連携し、学校給食の場を活用した調理等の体験学習について、具体的にどのような場を想定しているのか質問があり、事務局から、学校の授業の3、4限目及び給食の時間を活用して魚に関する座学を行った後、講師を招いて魚のさばき方を学び、そこからできた料理を給食で食べるという形で実施している旨回答した。
- ・委員から、お米を題材とした内容で毎年実施している、小中学生対象の「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールについて紹介があった。県下で行ったコンクールの優秀作品は全国コンクールへ進むというように全国規模で行っている取組であり、今後PR活動なども行っていきたいと報告があった。

■第2節 健康長寿を実現する食育の推進

- ・委員から、34市町村で実施している食育イベントについて、若者・壮年期世代には減塩や朝食摂取、野菜摂取の啓発、高齢者にはフレイルに関するアンケートの実施や低栄養予防の簡単なレシピの配布などによりフレイル予防についての啓発を実施しているという報告があった。
- ・委員から、高知県歯科医師会・歯科衛生士会・栄養士会が連携して実施している歯科と栄養の連携事業において、令和6年度に作製した「お口と栄養の健康すごろく」の完成について報告があった。本すごろくは、日常生活を振り返り行動変容のきっかけとすることを目的に、多世代が遊びながら学べる内容となっており、ライフステージごとのポイントもまとめている。現在は、主にデイサービス等の高齢者を対象に活用されているが、今後は学校現場でもぜひ活用して欲しいとの要望があった。

■第3節 持続可能な食の理解と継承

- ・委員から、JDA-DAT 高知における災害支援活動について報告があった。平常時には、訓練や防災イベントへの参加、県や他団体との連携、スタッフの養成およびスキルアップ研修等を実施している。発災時には、高知県保健医療調整本部からの要請に基づき活動を行い、避難所における栄養相談や特殊栄養食品ステーションの設置を担っているが、同ステーションの設置場所の検討が課題であるとの説明があった。また、特殊栄養食品の確保に取り組んでおり、特に食物アレルギーを有する方に対応した食品の整備に力を入れているとの報告があった。
- ・委員から、郷土料理の教室やメーカーと連携した料理教室の実施について報告があった。また、スーパーでの販売については、季節の行事食と絡めて、売り場づくりや店内及びホームページでのレシピの案内を実施しているという報告があった。

■第4節 食を育む環境づくり

- ・委員から、栄養教諭・学校栄養職員の若年化が進んでいることから、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に向けて、学校給食の調理場における災害時の対応や肥満、痩身、偏食等に関する児童生徒への個別指導、特別支援教育についての研修を実施したという報告があった。また、学校の授業で使用するデジタル教材について、作成したものは栄養教諭・学校栄養職員間で共有して使用できるようにしており、情報交換も行っているという報告があった。
- ・委員から、最近の物価高騰の影響で学校給食も大変厳しい状況にあるが、子どもたちに生産者の顔が見える取組など各課の取組が学校での食育を作っていると感じるといった意見があった。

■第1節から第4節における食育の推進について

- ・委員から、食育にはまず生産者が必要であり、地産地消や学校給食の公共調達の実組は、生産者の生活を支え、食の持続可能性の面でも重要であるという意見があった。
- ・委員から、農産物を継続的に農家の方に生産してもらい、消費者に幅広く購入してもらうため、直販所の機能強化、連携強化の実組の実施について説明があった。
- ・委員から、保育園において、五感を大切に育む取組の報告があった。また、本協議会で報告のあった取組を持ち帰り、食育の推進につなげたいという意見があった。
- ・委員から、20年後の食育の状況を考えると、食に関する地域活動を担う人の減少などの課題があるが、20年後の理想や、反対に避けたい状況を考えて、今後10年程度で解決策を考えていく必要があるという意見があった。
- ・事務局から、将来を見据えながら、今取り組むべきことを、委員の皆様及び各課がそれぞれの立場で、情報交換をしながら共に考えていきたい旨を述べた。

⇒第4期高知県食育推進計画の進捗状況について共有し、今年度の計画は本協議会で承認された。

(3) その他

事務局から参考資料1、2、3をもとに、令和6年度食育白書、中国四国農政局 子ども夏休み企画、及びこうち男性育休推進企業について情報提供を行った。

以上で会議を終了した。